

教育目標	「学園は教える者と、教えられる者とは、相互の信頼によって生かされる精神的な共同体である。」という理念の下、知・徳・体を錬成し、調和ある人間像を確立する。						
経営方針	(1)「自律的な精神」、「思考力と創造的な知性と技量」、「自然愛や人間愛を大切にす豊かな情操」を培う。 (2)「日本人としての美徳を育て、実践的な社会性を養うとともに、国際化・情報化社会のフロンランナーとして、社会貢献できるフェアなリーダーとしての資質を培う。」						
本年度重点目標	I 知育の推進 II 徳育の充実 III 健康な身体の育成 IV 豊かな生活の追及 V 家庭地域との連携 VI 生徒募集 VII 教育施設設備の活用						
重点目標	評価項目	令和02年度更新 具体的な方策または項目を評価する具体的な指標	令和02年度の実施状況	職員評価	職員コメント ◇:提言 ▲:改善 集計・まとめ 3/15, 69名	関係者評価 関係者コメント ◇:提言 ▲:改善	
I 知育の推進	授業の充実と 難関大学進学に 向け啓発	① 国・数・英等で発展学習実施 ② 国・数・英等で反復学習実施(復習・演習) ③ 補習補強の柔軟な実施(オンライン:O/L含む) ④ 進路指導・講演等進路啓発指導を高校部職員、 専門家・OBにより実施 ⑤ 学力推移結果受取後の学級/学年指導 情報や目標の共有(中学部・高等部・教科担当) ⑥ 授業時数や計画、副教材の見直し	① 学習集団を精査調整し、演習の内容を工夫することにより実力向上を図った。 ② 副教材を適宜組み合わせ、反復する際に工夫を凝らした。 ③ 必要に応じ指名補習を実施し、基礎の理解と定着を図った。 O/Lの動画配信は計画的に実施することができた。方向性は引き続き要検討。 ④ 3月にJ3進路課長講演を、7月にJ2職業講話(海洋講演)を実施。 コロナにより医療講話等断念せざるを得なかった。全学年対応もできなかった。 ⑤ ベネッセテスト・英検・実力確認テスト等の結果について情報を共有し、事前指導・ 事後指導の改善に活かした。中位層、中上位層の安定が目立った。 ⑥ 国:クリティカルシンキング、英:イングリッシュディスカバー等継続活用、定着した。 J3の実力確認テスト向け演習においてスポット採用の問題集を活用した。	A 30% B 51% C 1% D 16%	◇ 放課後補充指導のできる数・英の教員が(もっと)いるとよい。 ・ 内進生の大学進学での実績は中学での基礎の良さにある。 ◇ 限られた時間で楽しく集中する授業への取り組みはどうか。 ◇ ICTとG/Wの活用を推進してはどうか。 ・ ベネッセ、英検で好結果を残せた。国英での新たな取り組みを継続 活用するなど、学力向上に努めている。 ・ 副教材、インターネット等を利用し、効果的な指導ができていた。 ◇ 国語のCTを継続指導してほしい。 ▲ (諸点)特に発展は見られない。 ▲ ベネッセの結果の情報共有は積極的にに行われているとは思わない。 ▲ 英・数のグループ分けや数学の習熟度の効果の検証は？	A 0% B 100% C 0% D 0%	◇ 全国模試の結果を大学の学部ごとのボーダーラインの検索に 使い生徒も確認できるなどのシステム構築を進めてほしい。 ・ 中学校の早い段階からの目標設定が必要。 ・ 生徒達の学習意識は高いのではないかと思う。 ・ 中学での授業の基礎の積み重ねが大学進学の大きな力と なっている。 ◇ ICT活用により他校との差をつけるチャンスと考えたい。 生徒側においては通学に関わる時間、学校側においては 採点や学力分析において効果が期待できる。 ・ 中学時代の基礎づくりを引き続きお願いしたい。 ◇ テストの結果の分析と共通理解を促進したい。
外部模試等で 学力把握 在籍 J3 73名 J2 74名 J1 72名	① ベネッセ学力推移調査三科目受験と事後指導 J3 58以上- 15% 48以上- 35% 42以上- 30% J2 58以上- 15% 48以上- 35% 42以上- 30% J1 58以上- 15% 48以上- 35% 42以上- 30% 全国偏差値 ※48以上 : 48以上 ~ 57以下 単独を表す ()内は昨年度の数値 指標の数値は昨年度と同様の数値 J1J2の1月の結果は3/2日時点 未リリース ② 実力確認テスト(明誠高校入試)受験 J3:目標進路の学力水準達成70%以上 五科目 J2:基礎基本問題の習熟と確認 三科目 ③ 英検受験 年度末(2月)の時点 【J3 準2級 37% 3級 46%】 【J2 3級 57% 4級 31%】 【J1 4級 43% 5級 27%】 ()内は昨年度の数値 それぞれの級の数値は単独 2月二次の結果は3/2日時点 未リリース ④ 各試験結果受取後の一斉学級/学年指導 情報や目標の共有(中学部・高等部・教科担当)	① J3 9月② 58以上- 15(10%) 48以上- 34(38%) 42以上- 28(26%) 4月① 58以上- 11(15%) 48以上- 32(20%) 42以上- 27(34%) 上位層の成長と中位層の拡大が目立った。 J2 1月③ 58以上- 19(17%) 48以上- 38(32%) 42以上- 28(34%) 9月② 58以上- 17(15%) 48以上- 40(28%) 42以上- 21(33%) 4月① 58以上- 12(13%) 48以上- 28(30%) 42以上- 36(18%) 上中位層の成長が目立ち堅調。引き続きポトムアップにも注力したい。 J1 1月③ 58以上- 11(18%) 48以上- 36(32%) 42以上- 30(31%) 9月② 58以上- 15(14%) 48以上- 39(36%) 42以上- 19(23%) 4月① 58以上- 7(3%) 48以上- 28(32%) 42以上- 28(34%) 中学の学習に慣れ、安定して成長してきた。 1月では少し足踏みをした。 ② J3 指標は達成した。上位層の活躍も目立った。個々にみていくと弱点や 学習不十分な点が浮き彫りにされる。事後指導によって弱点の補強を 行い、高校進学次好スタートを切れるように準備させたい。 J2 基本的な設問に関しては一通り解答しており、学習の成果は表れて いた。3年進級時好スタートを切れるように準備させたい。 ③ J3 2月 2級- 9(9%) 準2級-16(26%) 3級-57(45%) 4級-12(16%) 5級-2(2%) 10月 2級- 5(5%) 準2級- 15(19%) 3級- 58(53%) 4級- 15(17%) 5級- 4(7%) 準1級- 1% 3級から準2級への向上に課題は残る。 J2 2月 2級-0(3%) 準2級-17(11%) 3級-41(43%) 4級-27(31%) 5級-10(12%) 10月 2級- 0(1%) 準2級- 12(7%) 3級- 28(21%) 4級- 31(42%) 5級- 13(22%) 2月指標達成の可能性大。 4級から3級・3級から準2級へのレベルアップを狙いたい。 J1 2月 2級-0(0%) 準2級- 4(0%) 3級- 12(6%) 4級- 36(19%) 5級- 38(28%) 2月指標達成の可能性大。 引き続き基礎基本の定着に取り組ませていきたい。	A 27% B 52% C 1% D 17%	・ 昨年度との比較が難しいが、それぞれが明確な数値目法を示し、 学習に取り組んでいた。 ◇ 外部模試の必要性について要検討だと思う。 ・ 各テストで上位層は伸びている。 ◇ J3はテストの結果を検証し、高校入学までの補強のための学習計画を 立て実践してもらいたい。 ◇ 保護者の視点から見て、(指標・実施状況など)物足りないと思う。 ◇ 中学生のうちに英検準2級をとることをノルマにした方がよい。 ・ 高校側としては圧倒的な学力の学生を期待したい。 ・ 中学1年次より積極的に英検に取り組んでおり、将来の進路選択の 時に必ず役に立つと思う。 ・ 学力の推移が外部模試によって確認できるのは良いと思う。 ◇ 中学生の学力試験の結果を具体的に知ることができたら良いと思う。 ◇◇◇	A 20% B 80% C 0% D 0%	・ 英検準2級取得の取り組みを継続してもらいたい。 ◇ 中学生の場合保護者の教育意識も高い。特に保護者との 意思疎通について((手だて)考えてほしい。 ・ 高校部に進学した時のことをよく想像しながら、教科指導して ほしいと思います。 ◇ 成績下位層の振り返りを工夫してみたらどうか。 また、目標の持たせ方も検討する価値があると思う。	
生きる力や総合力を はぐむ活動の設定	① 学習・体験活動とその目標成果の整理・広報・ 見える化・発表等の総合力育成の場を設定 行事ごとの一斉指導 手立ての引き継ぎ ② 実行委員会を組織した委員会・生徒活動 実行委員会と委員会の系統・目標・活動の見える化 及び一斉指導 ③ 発達段階や興味を踏まえ、朝読書を奨励する。 読書ノートを導入、振り返りを促進 【12冊/年】 成果のアウトプットと共有	① 行事後のレポートや自己振り返りシートの作成を継続的に指導した。 通年の系統的な指導が定着した。また、個性をよく発揮する場にもなってきた。 行事のねらいに照らし合わせて自己の実践力にどう変化があったか 数値的にも客観視させたい。 ② 今年度は活動内容が限定的なものにならざるを得なかった。 主体的な活動を確保し、お互いの活動を客観的に見て、 改善していく機会を確保していきたい。 ③ 各学年読書の一定の質と量を確保するにはまだ至ってはいない。 年間数回啓発のために一斉指導を行いたい。 方策はビブリオ的なものなど一層推進してもよいと思う。 何かしらの達成感を共有できるようにしたい。	A 22% B 50% C 7% D 20%	◇ 各専門委員、生徒会等の活動を確立すべき。 ◇ 読書ノートの実施については要検討。朝読書の取り組みは必要。 ◇ スポーツデイの運営に生徒をもっと関与させたい。 ・ 各教室に新聞等の掲示があり、体験活動の振り返りができていた。 ・ 知らないものを体験させ、知らないことを知ることで将来自身の為にな ると感じられる。 ・ ポートフォリオの習慣化を高校につなげていけると良いと思う。 次年度はなるべくたくさんの方の行事を行い記録がさらに豊かになることを 願います。 ▲ 朝読書の時間に私語をしたり、宿題をしたりする生徒がいる。 ◇ 振り返りシートをもっと活用した方がよい。 ◇ 中学生の中から中学の会長・副会長を出してはどうか。リーダー育成に つなげたい。 ▲ 読書の「機会作り」を真剣に考えていく必要がある。	A 20% B 60% C 0% D 20%	・ 学級新聞などの取り組みで中学生生活を振り返ることができて いる。 ・ 朝読書の充実が学習についてもその後の人生においても 大きく影響すると思います。 ◇ リーダー育成の取り組みを見直してはどうか。 ▲ 朝読書にきちんと集中させるべきである。 ◇ 集団育成の意識(リーダーシップ・フォロワーシップ)を再確認 すべきではないか。	

	<p>日本文化理解と国際教養養成 (総合学習)</p>	<p>① 日本文化理解行事実施【(2)回/年】 J1 自然体験、富士山学習、地域社会調べ・探訪 J2 (寺社宿泊研修)、企業探訪、地域・大都市探訪 J3 寺社・精神文化調べ、企業研修、地域・古都研修</p> <p>② 講演や交流会の実施・研究 J1 郷土 J2 医療・企業・進路 J3 医療・企業・進路</p> <p>③ 英会話授業【週1回】とアウトプット実践 J1～J3</p> <p>④ (禅寺の活用)</p> <p>⑤ 日本文化・国際教養講話／講演実施</p>	<p>① J1 4月御殿場宿泊研修(コロナ中止)、 10月盲導犬の里富士ハーネス・富士山世界遺産センター J2 4月可睡齋宿泊研修(コロナ中止)、10月関西オースタムキャンプ 延暦寺・三井寺研修、琵琶湖クルーズ・大津近隣周遊探訪、京大OG講演 J3 4月ふじのくに地球環境史ミュージアム・防災C研修等(コロナ中止) 10月関西修学旅行 J2と同様一学年4台のバスで往復した。 発達段階に応じて興味や探求心の拡大と深化を図った。方向性は昨年と同様だが、学習機会が減少し、狙いの理解と浸透に課題が残った。 次年度については、わらいと手だてにさらに検討を要する。</p> <p>② J1～J3 6月と12月 医療講話実施計画(コロナ中止)。 J1 2月心理講演実施、J2 9月海洋講演実施、J3 3月進路課長講演実施予定 多角的重層的な学びを積み重ねることが十分にはできなかった。</p> <p>③ TT授業及びスピーチ指導(英検二次対策含む)によりアウトプット力の向上を推進した。成果は安定化している。もう少しPRしても良いと考える。</p> <p>④ 4月 J2可睡齋研修(コロナ中止)。日帰り研修も検討したい。 動禅の精神を理解し、学校生活を実践的にふりかえる機会がほしい。</p> <p>⑤ 9月にJ2対象に海洋講演を実施した。 日本の立ち位置(海外との関係)について諸点から学んだ。</p>	<p>A 25% B 50% C 8% D 16%</p>	<p>・ コロナの中でよく工夫して行事に取り組んでいたと思う。 ◇ O/Lでの交流授業はできないか。</p> <p>・ できる範囲内でよく達成できていると感じる。</p> <p>・ コロナ禍で難しい部分もあると思うが学校内では感じることはできないような発見や感性というものは中学生にとって大きいと思う。どんな形であろうと外へ出ることはプラスであったのではないと思う。 次年度以降も続けるべきではないか。</p> <p>◇ ICTを活用したりリモート講演会等ができるの良い。</p> <p>・ 英会話の授業によってアウトプット実践と国際理解を進めることができた。</p> <p>◇ 講演会はO/Lでの実施などが可能な状況となりつつあるので次年度は計画段階で対面指導が不可能な場合はO/Lで対応してもよいと思う。</p>	<p>A 0% B 80% C 0% D 20%</p>	<p>・ イベントが中止となることで残念がる生徒もいたことと思う。 代替イベントがもう少しできればよかった。</p> <p>◇ 学校外での研修は個人の視野を広め、又新しい発見があるかもしれない。日帰りでも良いので、行事は実施した方が良いのではないだろうか。</p>
<p>II 徳育の充実</p>	<p>基本的生活習慣の確立</p>	<p>① 身だしなみと挨拶の指導 校風検査【1回/月】</p> <p>② TPOに合わせた所作・マナー・学習態度等を発達段階をふまえて指導検証する 打合せ、定例中学部会(週・月)等にて情報交換し一斉指導の手立てを共有する</p> <p>③ 私物貴重品管理・整理整頓・清掃指導の徹底</p> <p>④ 欠席・遅刻・早退の減少 基本的生活習慣の維持</p> <p>⑤ 基本的生活習慣近況について情報発信</p>	<p>① 4月の全体集会で生徒のロールモデルを示し、基本の理解を促していたが、今年度は学年で指導を行った。 月例校風検査は男女別、別担当で今年度も実施。</p> <p>② 個々の指導を継続的に徹底するという意味で学年差が出ている。 理解を深めつつ、妥協せず根気強く指導していきたい。</p> <p>③ 全体としても、学年・学級としても一定水準以上の節度で指導が継続的にできたと思う。時々クレーム受けていたことをきちんと受けとめ、反省材料としたい。移動教室時はやはり要注意である。</p> <p>④ 前期では断続的に指導遅刻が見られていた。後期では本遅刻が限定的ではあるが増加した。高校部と同じくらいの時もあり、ここは事情はどうあれ、素直に反省材料として受け止めたい。</p> <p>⑤ 通年部会等を主に近況を共有し、対策を検討した。</p>	<p>A 23% B 52% C 13% D 10%</p>	<p>・ 年間通じて身だしなみと挨拶がよかった。 ▲ マスク着用など高校生もそうだが身だしなみに関してはまだまだ改善の余地があると思われる。 ▲ 朝の挨拶など目を見てしっかり挨拶ができない中学生が目立った。 ◇ 月次の校風検査はもう少し厳しくした方がよい。 ▲ 教員の見ていないところでトイレを荒らすなどの問題行動が起きている。厳しく指導したほうがよい。 ▲ 忘れ物、紛失、遅刻等の常習はやや目立つ。中学生のうちに身につけなければこの先も続いてしまう。 ・ 校内を駐輪場まで自転車を引き歩いて歩く指導は徹底が難しそう。 ▲ 遅刻者が多く見られた。以前はこれほど報告された憶えはない。 しっかりと指導が必要である。 ▲ ネクタイの乱れが気になる。 ◇ 教室のカギも活用してはどうか。</p>	<p>A 0% B 40% C 20% D 40%</p>	<p>◇ マナーを学ぶ場ももう少しほしいと思う。 ▲ 身だしなみ等については乱れ始めると修正するのに時間がかかる。先生方の共通認識を基に徹底した指導を希望する。 ・ ▲ 印の改善点をきちんと指導してほしい。 ▲ 年頃なので仕方ない部分もあるとは思うが。(諸点)踏まえ た上で、大人が毅然とした態度で接する必要がある。</p> <p style="text-align: center;">◇◇◇</p>
	<p>特設道徳の充実と行動化</p>	<p>① 本校理念の浸透、一斉道徳講話実施 【複数回/年】</p> <p>② ボランティアの実施</p> <p>③ 自律性と社会性を培う場を設定し 実践力行動力向上を図る</p> <p>④ 交通マナーの指導と実践 交通安全教室実施</p> <p>⑤ 道徳教科書ノートを年間計画で使用 学習の記録を振り返り、共有する</p> <p>⑥ 情報端末使用時の人権問題啓発指導 講演実施と集会等で啓発指導</p> <p>⑦ 「いじめ」皆無の指導 【調査3回/年】</p> <p>⑧ 成果や伸長について情報発信</p>	<p>① 全体道徳の実施は本年度に関しては断念せざるをえなかった。 一斉道徳の機会は減少したが、集会を適宜行い啓発指導した。 次年度に関しては柔軟な対応と計画を行い、経験を生かして行く必要がある。</p> <p>② 恒例の清掃活動は未実施となった。 適切な範囲内での活動を模索計画する必要がある。</p> <p>③ 集会や行事の実施に枠がはめられた形となったが、 行事後の自己分析を欠かさず行い、生活改善に繋げた。</p> <p>④ 7月に交通安全教室を体育館で実施し、レクチャーを受けた。 座学のみとなり、指導効果に多少影響が出たかもしれないが、 全体で共有し、継続することによる効果や意義は十分にあった。</p> <p>⑤ ワークシートの活用に取り組みの差があり、この点について取り組みたい。</p> <p>⑥ 7月NTT講師、12月LINE講師(O/L)による携帯安全教室を実施し、 SNS・ゲーム等長所短所について全学年で学んだ。</p> <p>⑦ トラブルの未然防止をタイムリーに実施し、問題の芽を摘んだ。 また、招聘講師によるアサーショントレーニング、アンガーマネジメントの 集中心理講話をJ1が受け、人間関係をうまく保つ力を向上させた。 集中講話だったが、良好な態度で効率的に学ぶことができた。</p> <p>⑧ 定例部会での情報共有や通信・懇談会・面談を適宜機能させた。</p>	<p>A 25% B 47% C 13% D 14%</p>	<p>▲ 交通マナーや帰宅途中の寄り道など生活態度が甘い者が見受けられる。目の届かない場所では甘い考えを捨てられないようだ。</p> <p>・ トラブルの未然防止はうまくいっていたと思う。</p> <p>▲ 交通マナーにおいては学校全体の課題であるがヘルメットの着用が義務づけられている中学生が下校途中(校門を出てすぐ)にほとんどの生徒が外している印象がある。</p> <p>◇ SNSなどについての社会性についてもっと知る必要がある。 ◇ ボランティア等の積極的な実施により、地域社会との交流を深めていくべきと考える。 ◇ 招聘講師によるトレーニングは継続すると良いと思う。学校職員が行う生徒指導より、外部の人間が行うトレーニングや講話の方が素直に受け止めることも多い。 ▲ 自律性と社会性を培う場の確保が不十分だと思う。</p>	<p>A 0% B 60% C 0% D 40%</p>	<p>◇ 清掃活動を通し、精神的に充足した生活を送ってほしい。</p> <p>・ 交通違反など特に注意してほしい。</p> <p>・ 学年によってカラーがあるのかもしれないが、1年生が子どもっぽく上級生に対し甘えている感じがした。スタートが遅れたことも影響したか。 ▲ (一部生徒が)悪知恵を働かせているようだが、何のためにヘルメットが必要か理解してほしい(させてほしい)。</p>

	<p>個の尊重と主体性の醸成</p>	<p>① 情報交換で個の把握 【月次・週 定例会実施】</p> <p>② 生活帳の熟読とコメント</p> <p>③ 個別指導には、養護・カウンセラー・生徒課等チームの活用</p> <p>④ 中学生生徒理解研修会 【全職員で実施】</p> <p>⑤ KJQの実施と評価の活用</p> <p>⑥ 随時良い点や現れをフィードバック、全体で共有</p>	<p>① 定期的な情報交換により、生徒指導の意識を高めるよう努めた。個々の職員の対応が早くなったと思う。</p> <p>② 熟読とコメント記入が丁寧に行われ、コミュニケーションがよく確保された。家庭や生徒の学校への安心感が高まった。</p> <p>③ 状況に応じて外部組織の知見を活用し、生徒指導の精度を向上させた。</p> <p>④ 行動のあらわれを報告共有し、生徒理解の向上に努めた。</p> <p>⑤ 情報や指導方法について共有研修し、職員の共通理解や指導力を向上させた。職員の練度も向上し続けている。また、協力体制も良いものになった。</p> <p>⑥ 日常の職員間のコミュニケーションの風通しの良さにより、協同する力が高まった。</p>	<p>A 33%</p> <p>B 45%</p> <p>C 4%</p> <p>D 16%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担任、教科担当者がコミュニケーションをとりあい、各生徒の理解を深めた。 ・ KJQの実施は非常に参考になった。心理学・人間行動学の観点で専門家の意見は役に立つ。 ・ 生徒理解に努め、生徒個々の成長につながるよう指導されている。 <p>◇ 生徒理解研修会は時期を考えたほうが良いかと思う。高校側が実感をもてるようにしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日生活帳を見ていて、とても大切なことだと思った。 ・ 先生方はきめ細かく指導されていると思う。 ・ 密なコミュニケーションをとって良い連携ができています。 	<p>A 0%</p> <p>B 60%</p> <p>C 0%</p> <p>D 40%</p>	<p>◇ コミュニケーションによる連携を今以上に向上させてほしい。</p>
<p>Ⅲ 健康な体の育成</p>	<p>団体行事の用意 (団体行動や行事運営の基本も学習)</p>	<p>① スポーツデイ実施【参加率95%以上、(2)回/年】</p> <p>② 身心の持久力育成 【耐寒持久走会参加率92%以上】</p> <p>③ 体育大会の活用 【長縄跳び30回以上】など</p> <p>④ 武道奨励 時数の確保(前期・後期) ねらいの理解と浸透</p> <p>⑤ 部活動奨励【参加率85%以上】</p> <p>⑥ ダンスデイ実施</p>	<p>① 7月 コロナにより中止。 3月 サッカーとドッジボールを実施。 全体参加率: 96%</p> <p>② 栃山川周回コース2周継続。予定通り実施。概ねしっかりと完走できた。開会式や閉会式においてはマスクを着用した。 全体出走率は96.8%で、高かった。</p> <p>③ 行進が中止になり、その点でも多少意識に影響があったと思う。一部種目を除き、全般的に控えめな取り組みになり、当初の大会活用の意識は若干低下した感じは否めなかった。</p> <p>④ 男子は柔道、女子は剣道の指導を実施した。 ねらいの理解と浸透について手だてを引き続き検討していきたい。</p> <p>⑤ チームスピリットやスクールカラーを涵養する好機として参加している。 加入率: J11: 88%, J12: 88%, J21: 89%, J22: 94%, J31: 86% J32: 86% 全体: 88%</p> <p>⑥ 11月18日(金)平日実施。保護者参観者は80名前後で例年の8割くらい。待機中はマスクを着用し、参観者へのコロナ対策も実施した。節度を保った上で全般的に明るく活発に演技と鑑賞ができた。女子の演舞の良さが比較的目立ち、また運行等も概ね印象が良かった。当日は欠席者なし、若干見学者がいた。</p>	<p>A 41%</p> <p>B 50%</p> <p>C 0%</p> <p>D 8%</p>	<p>◇ 各行事において生徒の役割を増やしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各行事・部活動を通して中学生として健康で明るい生活ができていますと感じる。 ・ 様々なイベントを通して健康な体の育成に努めることができた。 <p>◇ 集団で一つの行事を達成することの大切さと喜びを知ってもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どの生徒も文武両道ができていますと感じる。 <p>◇ スポーツデイ、耐寒持久走、ダンスデイなどの行事はもっと大きくとりあげてもいいかもしれない。クラスの団結を深めたり、協調性を養う機会である。更に良いものを作りあげていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナによる制限があったが、その中でできることがしっかりと行われていた。 ・ 多くのイベントで中学生が活発に活動していたと思う。 	<p>A 40%</p> <p>B 40%</p> <p>C 0%</p> <p>D 20%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体行事を通し、クラスの団結を深めていた。 <p>◇ 健康な体作りが学習面や生活面のレベルアップに役立つことを振り返ってほしい。</p> <p>◇ 体を作る時期なのでいろいろ取り組ませてほしい。</p> <p>◇ 勉強も楽しいこともたくさん経験させてほしい。</p> <p style="text-align: center;">◇◇◇</p>
<p>Ⅳ 豊かな生活の追及</p>	<p>特別活動や課外活動の準備と充実</p>	<p>① キャリア教育の一斉の計画的取り組み 【MD内に設定】</p> <p>② 青藍祭に、部・学年・学級で参加 実践力やボランティア精神を磨く場とする 展示物には価値観教育への成果を記す</p> <p>③ フィールドワーク【(2)回/年】、芸術鑑賞 自身の思考力や発想力に向上に資する体験 学習を行う。事前事後指導の充実。</p> <p>④ 行事や活動のまとめと発表・展示 ねらいと学びを振り返り、次の行事(節目)に向け 展望させる。</p> <p>⑤ 学習集団の向上(行事・授業等活用) プレゼンや議論を活かし、コミュニケーション 力や創意工夫する力、思考力を上げる。 混成集団をつくり、他者への理解を深め、 また、集団の力を自覚理解する。</p> <p>⑥ 各種団体の文芸コンテストに参加 想像力を発揮し、自他の理解を深め、お互いに 学び合う仲間であることを自覚する。</p> <p>⑦ 自分の長所・短所について行事ごとに振り返り、 自尊感情や自己有用感に繋がるヒントを得る。</p>	<p>① MDの年間計画を主要行事に前後してより明確にし、共有したい。 第一四半期の影響(コロナ)で計画策定が多少不明瞭になったきらいは、否めない。反省事項としたい。</p> <p>② 模擬店・アトラクション(J3)、展示(J2・J1)の活動パターンを踏襲した。 それぞれ一通り安定的に実施し、学校生活のふり返りを行いつつ、 集団育成や社会性向上に繋げた。</p> <p>③ 4月(コロナ中止)。10月の主要行事中の実地研修・検証にあたる。 発達段階に応じて学年行事を設けている。事前事後指導を通して それぞれの目標に応じた考察を生徒達に促している。特に事後指導の まとめが大事であり、今後何にどう生かしていくのかという自分または 自分たちの問題として答えを出せるように導いていく必要がある。 しっかりと答えを出せる生徒もおり、地道に作業を続けている。</p> <p>④ 今年度は個人のワークシート作成が比較的充実したと思う。 行事等が例年より限定されたものの、逆に自分のふり返りは多彩に なり、特に表記は個性がなかなか発揮された。中身にも着目し、 学級・学年で共有する機会を増やし、意識をさらに高められると良い。</p> <p>⑤ ワークシート活用の流れがさらに進んだ。ねらいと内容の面で学年ごとに 系統化が一層進んだ観がある。 自己有用感・自尊感情や他者への理解力を導き出す手だてを工夫し、 実践力向上を引き続き目指していきたい。</p> <p>⑥ 定番化した参加コンテストで入選を果たしており、成果を実感した。 学級で鑑賞する機会を設け、親交を促進するチャンスにしたい。</p> <p>⑦ レポートの際の自己分析において、「自分は～するようになった。」、「 他者の～を～考えるようになった。」などといった到達点を表現させるよう</p>	<p>A 27%</p> <p>B 51%</p> <p>C 2%</p> <p>D 17%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動に制限があったが、ワークシート活用の充実、文芸コンテストの参加など可能な限り豊かな中学校生活作りに取り組んだ。 <p>▲ G/Wを行った際に協同して学習する集団とあまり積極的に活動しない集団とが見られた。仲の良い生徒だけでなく、どのような相手であっても協力して活動できるように、日頃から指導していきたい。</p> <p>◇ MDの時間をもっと計画的に使えるようにしたいと思う (総合の学習の時間の意識を改める必要あり)。</p>	<p>A 0%</p> <p>B 60%</p> <p>C 0%</p> <p>D 40%</p>	<p>◇ 生徒たちの柔軟性や他者への理解力を引き続き培ってほしい。</p>

コーチングに臨んでいきたい。

V 家庭・地域との連携	対話の増加	<p>① 面談の奨励(希望面談も用意)【4回/年】</p> <p>② 保護者会等実施</p> <p>③ 行事関係文書配布【2週間以上前】 子供の現れの連絡(けが・病気含む)</p> <p>④ 内進高校生の情報も含め生徒の良い点の発信 中学部だよりの活用</p>	<p>① 4月新年度個別面談①(コロナ中止)、8月夏休み三者面談、11月個別面談②、6(コロナ中止)・11月オープンキャンパス中希望面談、11月～2月個別面談による進級指導実施。 機会は減少したが、学校としての機能は果たした。</p> <p>② 6月地区別懇談会(交通安全対策・夏期の準備)、(J3:9月修学旅行説明会/学年懇談・進級準備)。 2月学年学級懇談会 参加率7～8割前後、若干減少した。</p> <p>③ 各行事2週間以上前に通知を配布。気になる事柄については教員間で対策を予め検討し、保護者と適時コミュニケーションをとり、風通し良く未然に問題解決を図った。</p> <p>④ 7月(コロナ中止)と3月J3対象に進路課長講演会実施。進学の基本や現状について丁寧にわかり易く説明してもらい、学校生活の目標の確認と進路意識高揚に役立てた。今年度は全学年対象の講演会は控えた。</p>	<p>A 33%</p> <p>B 45%</p> <p>C 1%</p> <p>D 19%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 都度、保護者と連絡をとりあい、連携が取れていると感じる。 進路課長だけでなく教務課長講演も併せて行うと思う。 保護者会の実施により対話を増加させることができた。 日常の活動から生徒・保護者とコミュニケーションをとっている様子がうかがえる。行事的な機会が不足する分日常のコミュニケーションをさらに大切にしていきたい。 個別面談は良いと思う。授業が多く忙しい分生徒と一対一で話せる空間は今後必要。 	<p>A 20%</p> <p>B 60%</p> <p>C 0%</p> <p>D 20%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 三者面談・個別面談など担任と家庭の協働化を図るべき。 日常の小さなことでも家庭と連携をとっていくことが大切。 話を聞く時間を確保することは大事。
	広報活動の充実	<p>① 通信文書の発行【6回以上/年】</p> <p>② 子供安全連絡網・SNSの活用</p> <p>③ オープンキャンパスでのアンケート実施</p> <p>④ (行事や発表会の開放)</p>	<p>① 時節の学校活動の目標・計画と近況を紹介し保護者の学校理解に努めた。フロントに啓発文章を毎回掲載する試みを行った。</p> <p>② コロナ対応等、行事予定変更に関する保護者への連絡手段として活用した。</p> <p>③ アンケート内の各意見や提案に対し適切に対応した。参加率はほぼ目標を達成。</p> <p>④ ダンスデイ、体験学習など開放。通知を二週間以上前に配布し、参加を適宜促した。参加者が極端に減ることは幸いなく、その点良かった。</p>	<p>A 33%</p> <p>B 39%</p> <p>C 4%</p> <p>D 22%</p>	<ul style="list-style-type: none"> アンケートはもっとやった方がよい。 アンケート実施はとても良いと思う。保護者のご意見が聞ける貴重な機会なので続けていくべきである。 タイムリーに通信を発行し、保護者に学校活動を理解していただけていると思う。 	<p>A 20%</p> <p>B 60%</p> <p>C 0%</p> <p>D 20%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 通信文書の発行は、今日の様なコロナ渦において学校の様子が目で確認できるので継続してほしい。親としても安心感が得られる。 アンケートについて紙でのアンケートをおこなっているのであれば、ICT活用により端末から作業できる仕組みの構築が必要。手間を減らしながら保護者から生の声を聞くことができると考える。 コミュニケーションの機会を引き続き確保してほしい。
VI 生徒募集	渉外活動の充実	<p>① 説明会や講習会・オープンテスト等実施</p> <p>② 小学校や塾への渉外活動</p> <p>③ (各種行事の活用)</p> <p>④ リーフレット作成</p>	<p>① ・説明会 8/8 :87世帯, 8/22 :52, 9/19 :65, 10/15 :47 11/16 :80, 11月最終説明会を除き、各月では前年比増 ・講習会 9月 :55, 10月 :58, 前年比130% ・オープン①8月 :77, ②9月 :83, ③11月 :90, 前年比106% ・入試 一次 86 :単65 併21 二次 2:単2 前年比93% 募集定員70名になり3年目、75名入学予定。男子単願が2年連続増加。 リーフレット等の事前申し込みDMと缶で積極勧誘した。講習会・オープン・体験学習会等で増加傾向が見られた。入試で若干減少した(募集定員確保)。 ・4・5年説明会 8月 :51, 10月 :25, 2月 :75 前年比162% ・4・5年体験学習会 部活体験は実施せず 英語10月 :39 前年比121% 理科 8月 :60, 2月 :95 前年比224% ・6年体験学習会 理科 8月 :49 新規</p> <p>② 小学校訪問約90校 5月(学園祭前)・7月(夏面談前)・2月(学習会前)の3回を基本として訪問した。 志摩・小笠・静岡地区の有名/個人塾を訪問。学校案内・入試行事リーフレット・学園祭/体験学習案内・通学バス案内・通学費補助案内等配布。</p> <p>③ 学園祭や定期演奏会は非公開となり、PRできなかった。 名簿の蓄積と活用に配慮を要した。 4・5年対象の10月英語/2月理科体験学習会については、ひと月前より訪問活動を開始し、またDMを送付。実施2週間前にはPRを概ね済ませていた。</p> <p>④ 入試行事年間予定リーフレットに加え、各種リーフ(講習会・オープンテスト・体験学習会・通学補助支給)をひと月以上前から送付配布した。 A3版体験学習会用自家製ポスターを校内外で掲示推進した。</p>	<p>A 33%</p> <p>B 47%</p> <p>C 4%</p> <p>D 14%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 渉外活動における目標数値事業計画が分かりにくい。 職員全員が状況把握できるようなツールが必要と感じる。渉外活動内容の共有必須、電話による渉外活動の精度を高める必要あり。 好印象を与える応対力・話術を学ぶ必要がある。 活動は多くしているものの、受験者の実数が伸び悩んでいるため、何かしらの策を打つ必要がある。 オープンテストなどにおいて、中学部の教員だけでは人員不足だと感じることもあった。高校部の教員とも連携して準備対応をした方がよいと思う。 ▲ オープンテスト作成者は負担が大きい。1回分削れないのか。 ・ 国語科は高いクオリティで試験を作成することができる。 ▲ オープンテストの準備は間に合わない。なんとかならないのか。 ・ 学園祭・定期演奏会が非公開で、PR不足の中75名の入学予定者の確保は丁寧な日頃の対応の結果だと思う。又、入学生の進路実績等、本校中学生の活動が地域に評価された結果だと思う。 ◇ 中学の説明会や体験学習の開催にあたっては、案内など含めて人数が必要となる。高校・中学と分けずにもっと人員を割くべきであると思う。 ◇ 体験学習の収容人数・方法について、もっと方策を検討すべきである。 ◇ 勧誘通知に見直しが必要ではないか。 	<p>A 20%</p> <p>B 60%</p> <p>C 0%</p> <p>D 20%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 共感を呼び起こすことを意識し、学校のPRに臨んでほしい。 ・ 細かな渉外活動が実施されていると思います。 <p style="text-align: right;">◇◇◇</p>
VII 教育施設・設備の活用	快適な教育環境の実現	<p>① 教室内外整理整頓、施設管理、電源管理の徹底、目的の理解【放課後巡回 複数回/日】</p> <p>② 駐輪場管理</p> <p>③ 設備・備品の保全【放課後巡回 複数回/日】</p> <p>④ 防災教育と訓練の実施【2回/年】</p>	<p>① 学年集会等にて、ロッカー・駐輪場等使い方を指導した。 概ね例年通り一定の水準を維持した。ねらいの理解について年数回一斉指導できるとよいが、今年度は難しかった。</p> <p>② 適宜施設確認・駐輪方法・整備状況などについて学年・学級を主に指導した。駐輪場の整備により駐輪方法が標準化された。 駐輪の仕方について工夫が必要なため通年ケアが必要である。</p> <p>③ HR・集会指導や放課後巡回指導を行い、啓発と保全に努めた。</p> <p>④ 6月防災避難訓練実施。略式の実施となった。 9月防災避難訓練実施。略式で、一次避難・安全点検のみ。 二次避難はなし。</p>	<p>A 25%</p> <p>B 48%</p> <p>C 7%</p> <p>D 19%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 見回り指導は必要である。 防災訓練を略式でない形で行えるとよかった。 ◇ 環境整備に力を入れるべき。校内美化活動を徹底することで来校者・保護者などに快く来校して頂く努力が必要と感じる。その姿勢が渉外活動(生徒募集)につながると思う。 いつ見てもきちんと整理整頓がされている。生徒の清掃活動に対する意欲も高いように感じる。 ◇ 駐輪指導の一斉指導を充実させるとよいと思う。 ・ 駐輪場の整備といった点は、直接生徒の学力等とは関係ないが、多感な年代の生徒の生活ではとても大切なことだと思う。 	<p>A 0%</p> <p>B 80%</p> <p>C 0%</p> <p>D 20%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 場外駐車場の整備をお願いしたい。 ・ 防災訓練を確実に実施してほしい。 ▲ 今の施設設備を大切にほしい。改善するところは力を入れていかなければならないと思います。 ・ 素直さを涵養してほしい。

